

金澤醫學會雜誌第四號

演 說

○月經調査ノ報告

醫學士 山田謙治

月經トハ一定日ヲ距テ一定時間陰門ヨリ血液ノ流出スルヲ云フモノニシテ其名稱ハ各國千差萬種ナリト雖モ月ノ意ヲ語中ニ含ムモノ多シ例之ハ獨逸コトメenses. Menstralfluss. 佛ニテMois 英コトテMonthly discharge 日本ニテ月ぢらシト云カ如シ、抑モ此名稱ノ起ルヤ只管月毎ニ血液ノ流出スル故ノミニアラス往時ハ月經ト大陰ノ關係密ナリト想像セシニ依レリ其証據コハテスタ¹氏ハ滿月ニ月經多キハ空氣ノ稀薄トナルニ依ルト云ヒ(千七百九十年)オシアンデル²氏ハ新月時ニハ若キ嬢娘ノ月經多ク滿月時ニハ老年ノ婦人ニ月經多シト云ヒ(千七百九十五年)カルフ³氏ハ月經ノ源因ナ潮ノ干滿ニ歸シ日本ニテモ亦タ分娩ノ時季ハ月ノ新滿ニ關係スト云ヒシ

「久シ然レモ佛ノデアブルモクス Desormeus 氏ハ稍ヤ其説ヲ異ニシ月經ハ大陽ニ關係スルヲ月ヨリモ多シトテ之ヲ証明スルニ動物交尾ノヲチ以テシ曰ク動物交尾ハ大陽出テタル晝間ニ多ク蛇ノ如キハ日中ニ鵜鷺ハ晨朝ヲ交尾シ魚類ハ正午ニ産卵シ亦タ哺乳動物中ニ四季ヲ撰ムモノハアレモ未タ月ノ新滿ヲ撰ムモノナシト云ヘリ

又月經ハ一種不潔ノモノニシテ婦人ハ神罰ニ依テ此汚アリト云ヒ其名解ニモ不潔ノ名ヲ附スルヲ寡ナカラス日本ニテハ月さわりよこれト云ヒ獨逸ニテ *Reinigung* (清潔ニ) ト云フハ身躰ヲ清ムルノ意ニシテ不潔物ヲ洗滌スルノ意カ往時亞刺比亞時代ニモ醫師中之チ不潔ナリト云ヒシ話シアリ曰ク月經ノ血液ニ觸ルレハ樹木ハ枯レ果實ハ腐敗シ酒ハ酸敗シ鏡面ハ曇リ硝子ハ溶解シ之ヲ啞タル犬ハ狂犬病トナリ月經中ノ婦人ト交接スレハ男子ハ癩病ヲ發スト云ヒ亞米利加土人ニモ同様ノ妄信アリ亦日本ニテモ舊幕時代其婦人分娩シ或ハ月經中ナレハ參勤ヲ廢スル例アリ初島ノ如キハ明治ノ初年迄月經時ノ婦人ヲ新クニ設置シタル別家ニ集聚セリト云フ

兎ニ角月經ハ人身ニ現ル、奇異ノ現象ト思意シ太古以來人ノ注目スル處トナリ從ツテ此事ニ關スル附會ノ説モ甚ク多ケレト月經ハ人身ノ生理作用ニシテ決シテ怪ムヘキコニアラス

月經發現ノ生理作用ヲ説クモノ或ハ曰ク月經ハ生殖器既熟ニ關係ナシト乙説ヲ主張スル者ハ主ニ「バイゲル」氏ニシテ同氏ハ千八百七十四年出版ノ婦人科書中ニ論シテ曰ク墜卵ト月經ハ元來異別ニシテ墜卵ハ小兒ニアレト月經ハ否ラス必ス一定時期ヲ隔テ人身体ニ起ルヘキ流動充血ニシテ墜卵ハ未タ停止セサルモ月經ハ既ニ止ム者ニシテ斯ノ如キ間歇性ノ充血ハ婦人ノ痔出血衄血杯ニアルノミナラス男子ニモ往々是アリトテ多クノ例証ヲ掲ケリ「ドクトルキング」Dr. King氏ハ二十二年ノ男子ニシテ既ニ三年間毎月龜頭ノ後部ヨリ二三日間宛出血シテ「一」オンス「二」及フヲ實驗シムスグレーウ Muesgrave 氏ハ男子ニシテ毎月拇指ヨリ出血スル者アルヲ報告シタルカ如キモ其一例ナリ然レト「アリュウゲル」Plunger「グンドラート」Kunzhat 氏ハ甲説ニシテ月經ハ生殖器成熟ト密接ノ關係ヲ有シ子宮充血ノ

度最高度ニ達シ出血シテ創面未タ癒ヘサル際ニ脱離シタル卵子宮内ニ達
 シ既ニ受胎シタルキハ其儘創面ニ附着シテ妊娠ト成ルヘシト論シ後クン
 ドラート Kundrat ノオバルト Leopold ウサルビアム William ミュンローデル Schroeder
 等諸氏出テ更ニ論シ脱離シタル卵ハ子宮内ニ達スルキハ充血シタル子宮
 ノ粘膜未タ剝離セサル時期ニシテ受胎シタル卵子宮内ニ達シテ附着スレハ
 即チ粘膜ハ脱落膜ニ變スト云フ其説トハ稍ヤ異ナレモ墜卵ト月經ノ關係
 ナ始メテ論シタルハ「プリューゲル」氏ニシテ「バイゲル」氏ノ説ハ今日ニハ
 用ヒラレス但シ兩側卵巢ノ摘出術ヲ行フタル婦人ニ依然月經ノ持長スル
 一アリテ關係論ヲ駁撃スルノ材料トナシタル一アレモ此現象タル偶々其
 婦人ニ子宮充血習慣性トナリシニ基因スルモノニテ僅カニ百人中一二人
 アルニ過キス新クニ月經アリシ婦人ヲ剖檢スルモ墜卵ノ痕跡ヲ見サル一
 アルハ其際卵巢ノ充血未タ墜卵ヲ催スニ足ラサルモノナリ或ハ墜卵ノ痕
 跡アリナカラ生前月經ナカリシモノハ則チ其反對ニシテ充血未タ月經ヲ
 起スニ足ラサリシト知ルヘシ

故ニ月經ノ現象ハ卵巢内卵十分ニ發育シ其神經ヲ刺戟シ反射的ニ生殖器ノ充血ヲ起シ終ニ卵巢充血ハ墜卵ヲ催シ子宮充血ハ月經ヲ起スニ到ル者ナリ

月經時ニ發起スル解剖的變化ハ未タ十分明亮ナラス卵巢ニ於テモ墜卵ノ爲ニ出血スレモ其量ハ甚タ些少ナリ喇叭管ニ於テハ充血シテ鱗毛上皮ノ強硬ヲ起セモ未タ出血スルニ至ラス子宮ハ則チ出血ノ部位ナレモ其變化ニ於テハ其說區々トシテ一定セスクンドラト氏ハ子宮粘膜脂肪變性シテ月經ヲ來スト云ヒウヰルヤム氏ハ其粘膜ハ每常新生スルト云ヒレオパルド氏等ハ此說ヲ非トシ粘膜ニ充血シ以テ出血スルニ至ルト云フ免ニ角子宮ノ充血ハ甚タシク粘膜ノミナラス實質モ多少肥厚シ出血ト共ニ分泌機頗ル旺盛ナリト謂ツヘシ

月經時ニ流出スル液体ハ純粹ノ血液ニアラストハ既ニ數十年前ニラウグナ氏カ述ヘタル事實ニシテ氏ノ說ニ依レハ其血液ハ動靜脈血液ノ中間ニ位シ纖維素及ヒ窒素寡ク炭素ニ富ミ頗ル粘稠ニシテ一種ノ臭氣ヲ有シ容

易ニ腐敗スルコトナキモノト云ヒオシアンデル氏ハ數年間分解スルコトナシト云ヘリ此說果シテ謬ラス其液ハ純粹ナル血液ノ性質ヲ缺キ血液中ニ子宮腔等ノ分泌物ト剝脫シタル上皮細胞ヲ混シタルモノニシテ凝固スルコトナシ亦一種ノ臭氣アルハ酸性腔液ノ致ス處ニシテ未タ纖維素ノ多少ニハ關係アルヲ見ス

月經ハ少シモ前兆ナクシテ頓發スルモノアレモ每常多少ノ前驅兆ヲ以テ起ル婦人モ亦寡ナカラス殊ニ其前兆ハ初回ノ時ニ甚ダシク下腹ノ緊張、四肢ノ軟弱、陰部ノ熱灼、子宮ノ下行、子宮頸部ノ覺知、食欲不振、等アリ時トシテ乳房ノ緊張、微痛ヲ覺ヘ眩暈、不穩、頭痛、心悸、亢盛、顔面潮紅等ヲ顯ハシ二三日ヲ經テ出血ヲ始ムル者ナレモ初回ノ作ハ唯多量ノ漿液ヲ分泌スルノミニシテ諸症減退シ常ニ歸スルコトアリ

前段ニ說述シタルカ如ク月經ハ卵巢内「グラーフ」氏胞增大シテ卵巢ヲ刺戟スルニ依テ發スルモノナレハ卵巢成熟則チ生殖器發育完備スルニ至リ始メテ發起スル者ナリ彼ノ春機發動期前ノ孃娘例ハ十一二年迄ナル少女

ノ子宮ハ初生兒ノ子宮ト殆ント同一ニシテ身軀他部ノ如ク生産ノ後漸次ニ發育増大スル者ニアラス春機發動期即チ十四乃至十六年ニ至リ頓ニ増育ス故ニ月經ノ發現ハ生殖器成熟ノ確徵ト見做スモ可ナリ

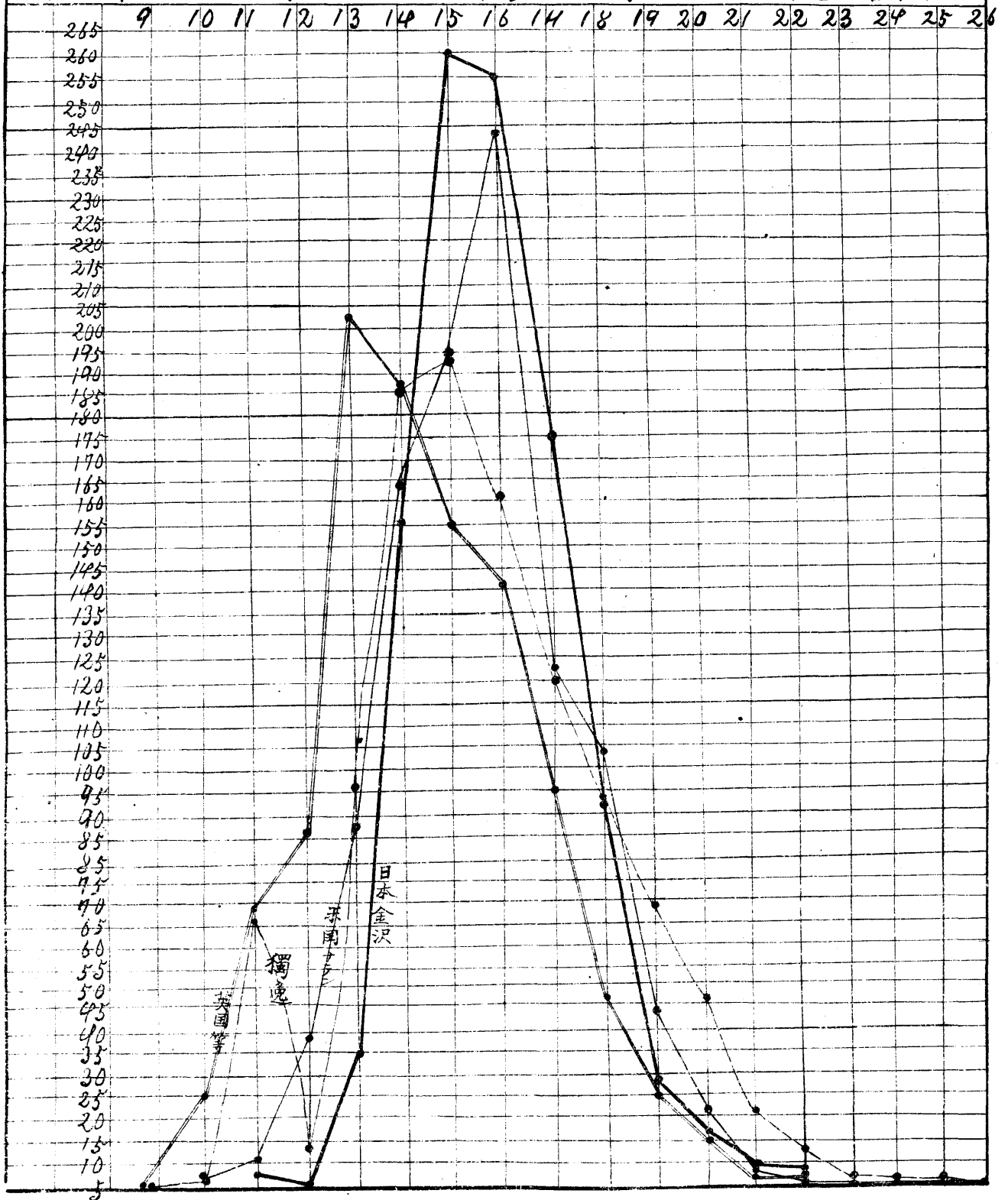
生殖器成熟期ハ各國ニ於テ均一ナラス寒帶地方ハ遅ク熱帶地方ハ早ク暖帶地方獨逸英吉佛蘭杯ハ大抵同時ニシテ十四五年ナリ此時期ヲ了知スルハ醫師特ニ婦人科産科ニ最モ樞要ナルノミナラス國際上ニ於テモ民法編纂上嫁婚期確制等ニ於テ甚々必要ナルコナリ余ハ當金澤ニ赴任以來此事項ヲ調査セント欲スル念慮アレヒ習慣上天癸ノ事實ヲ深ク探求スルハ患者ノ嫌忌スル處アリテ未タ細密ナル調査ヲ逐ル能ハスト雖ヒ患者診察ノ際余カ聞知シタル處ノ婦人五百人ニ達シタルヲ以テ之ヲ第一報告ト成シ諸君ニ報導スルニ至レリ然レモ此報導ヲ成スニ及テハ金澤病院婦人科醫員其成效ヲ助ケラレタレハ同醫員ニ向ヒ予ハ先ツ之ヲ謝セサルヘカラス各國ニ於ル月經ノ始期ヲ比較スレハ左表ノ如シ

各國ニ於ケル初回月經年齡ノ表

調査人	Mayer	Witchead	Hermann Beigel	山 田	甲 統 計 表
調査國名 年 齡	獨 逸 國	不 明	英國(重=)	日本金澤	
9	1		1		
10	7	9	10		
11	43	26	32	2	
12	184	136	41	1	
13	605	332	99	15	
14	1193	638	91	76	
15	1240	761	75	131	
16	1026	967	68	125	
17	758	499	45	85	
18	528	148	21	44	
19	425	71	10	12	
20	284	9	5	6	
21	111	6	1	2	
22	55	2	1	1	
23	15	1			
24	15	1			
25	1	1			
26	4				
27	2				
28	1				
29	0				
30	0				
31	1				
合 計	6 5 5 0	4 0 0 0	5 0 0	5 0 0	
平均年齡	1 5 . 8	1 4 . 7	1 4 . 4	1 5 . 8	

是、ナ、以、テ、之、ヲ、觀、レ、ハ、金、澤、コ、テ、ハ、月、經、始、期、十、三、年、以、前、ノ、者、ハ、僅、少、ニ、シ、テ、十、
 四、年、ニ、テ、ハ、殆、ン、ト、全、數、七、分、ノ、一、ニ、達、シ、十、五、年、十、六、年、ニ、テ、ハ、五、分、ノ、一、以、上、
 ト、ナ、リ、十、七、年、ニ、テ、ハ、亦、減、シ、テ、七、分、ノ、一、ト、ナ、リ、十、八、年、以、下、ハ、亦、頓、ニ、減、少、セ、
 リ、之、ヲ、他、國、ニ、比、ス、ル、ニ、英、國、ニ、テ、ハ、十、三、十、四、ノ、二、ヶ、年、ハ、尤、モ、多、ク、シ、テ、五、分、
 ノ、一、弱、ナ、リ、獨、國、コ、テ、ハ、十、四、十、五、ノ、二、ヶ、年、尤、モ、多、ク、シ、テ、五、分、ノ、一、ナ、リ、米、國、
 ニ、テ、ハ、十、六、年、尤、モ、多、ク、シ、テ、四、分、ノ、一、強、ナ、リ、此、年、齡、ヲ、平、均、ス、レ、ハ、金、澤、ハ、十、
 五、年、ト、八、英、國、ハ、十、四、年、ト、四、米、國、ハ、十、四、年、ト、七、獨、國、ハ、十、五、年、ト、八、ヲ、算、ス、然、
 レ、モ、余、カ、計、算、シ、タル、處、ノ、年、齡、ハ、總、テ、舊、曆、年、齡、ナ、レ、ハ、滿、年、ヲ、算、ス、レ、ハ、平、均、
 一、年、ヲ、減、少、ス、ヘ、キ、ニ、因、テ、實、際、初、回、ノ、年、齡、ハ、十、四、年、ト、八、位、ニ、成、ル、ヘ、シ、
 茲、ニ、尤、モ、注、目、ス、ヘ、キ、事、項、ハ、始、期、年、齡、ハ、日、本、ニ、於、テ、最、高、點、ノ、尤、モ、多、數、ナ、ル、
 ニ、ア、リ、則、チ、左、表、ノ、如、シ、

各國二於月經初回年齡比較千人二就割合



各國ニ於ケル初回ノ月經年齡百分數%ノ表

調査國名 年齡	(重ニ)英國	不 明	獨 逸 國	日本金澤	丙 統 計 表
9 年	0.2%		0.015%		
10	2.0%	0.22%	0.107		
11	6.4	0.65	6.656	0.4%	
12	8.2	3.10	0.809	0.2	
13	19.8	8.30	9.236	3.0	
14	18.2	15.94	18.213	15.2	
15	15.0	19.02	18.931	26.2	
16	13.6	24.18	15.664	25.0	
17	9.0	12.48	11.572	17.0	
18	4.2	9.82	8.885	8.8	
19	2.0	3.70	6.488	2.4	
20	1.0	1.78	4.290	1.2	
21	0.2	0.22	1.694	0.4	
22	0.2	0.15	0.839	0.2	
23		0.05	0.229		
24		0.03	0.229		
25		0.03	0.015		
26		0.03	0.061		
27			0.030		
28			0.015		
29			0.000		
30			0.000		
31			0.015		
財科人ノ數	5 0 0	4 0 0 0	6 5 5 0	5 0 0	
調査人ノ名	Hermann Beigel	Witchead	Mayer	山田謙治	

之ニ由テ觀レハ日本ニテハ月經始期ノ最多數年齡十五十六ハ十四十七ヨリ高度ナルヲ甚クシク四十七ハ亦十三十八ヨリ更ニ高ク悉竟曲線ノ屈曲尤モ銳利ナリトス之ヲ他國ニ比スルニ米國ハ十六年ノ最高數ハ絕項ニ達スト雖モ曲線ノ勾配銳利ナラス英獨兩國ハ其絕項日本ニ於ル五分ノ四ニ達セス故ニ英獨米ニ於テハ月經始期ノ年齡日本ノ如ク均一ナラサルヲ證スヘシ、

(未完)

○痰中結核桿菌ヲ驗出スルノ一法

陸軍三等軍醫 長谷田 務

肺結核患者ノ痰中其「バナル、ス」ヲ鏡査センカ爲メ種々ノ染色法ヲ以テスルモ其成績陰性ナルヲ屢々之レアリ余頃日一患者ヲ診スルニ其症狀悉ク肺結核ニ符合スト雖モ其痰ヲ採リ數回反復染色鏡査スルモ一モ「バナル、ス」ヲ認メズ茲ニ於テ「ヒーデルト」氏法即チ三〇、〇(瓦)ノ痰ヲ「ペーケルグラ」中ニ盛り之レヨ十五滴ノ加里滲汁若クハ那度倫滲汁ヲ加ヘ酒精燈上ニ